

# でんでんむし



## 11月になりましたね。

日中のぽかぽかとしたお日さまがより温かく感じられる程、朝晩の冷え込みに晩秋の気配が深まる頃となりました。さて、この季節はインフルエンザやノロウイルスなど、感染症にも注意が必要です。



予防接種をしたから大丈夫と油断は禁物です。手洗い、うがい、規則正しい生活に心がけたいものですね。



### ～子育てワンポイントアドバイス～ 「トイレトレーニング」あせらないで、ゆっくりと。



「排泄の習慣を早くしつけないと！」っと、あせってしまうママたちを良くみかけます。しかし、子どもの成長には個人差があるので、どの子どもと同じようにはいきません。ウンチやおシッコが一人でできるようになるのは、だいたい3歳ぐらいといわれています。特別に訓練しなくても、ほとんどの子どものおむつは、ごく自然にとれていくものです。でも、自然にまかせていたら、かなりの時間がかかるでしょう。

排泄のしつけは、次の条件がそろったら、そろそろ初めてみるのもいいでしょう。決してあせらず、叱らずに…ね。

- ①ウンチの回数が一定し、時刻もおよそきまってきた。
- ②ウンチの前に、もじもじしたり、赤くなって気張ったりするなど、表情の変化が読み取れるようになってきた。
- ③オマルに乗せても、いやがらずにちゃんと姿勢がとれるようになった。

### ◆◇パパへのワンポイントアドバイス◆◇

幼稚園の新入生の男の子には、オマルや便器にまたがったり、座ったりしないとおしっこができない子もいるそうです。パパの出番かな？



## ～ 子育て支援センター「でんでんむし」の10月のイベントから ～

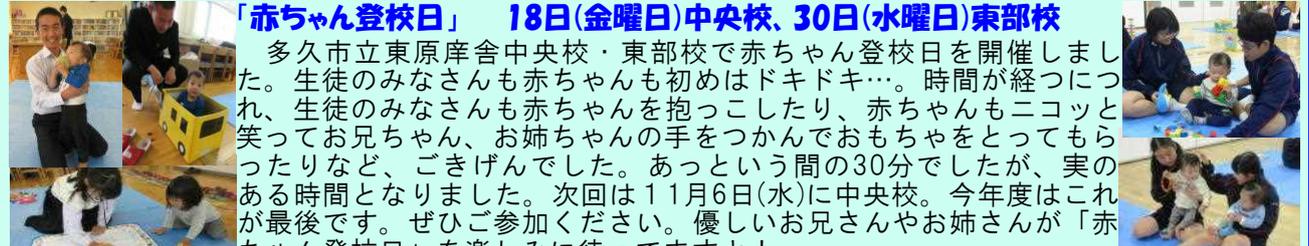
**第4回「ママカフェ」3日(木)**  
3日は支援センターの第4回目のママカフェでした。親子16組、34名の参加をいただきました。お茶やコーヒー、お菓子をいただきながら、楽しいひとときを過ごされたことと思います。ご参加ありがとうございました。



**「子育て講話」17日(木) 演題:「つなぎ・育む関係づくり」**  
佐賀女子短期大学の白濱洋子先生を講師としてお迎えしました。話の中で「3歳までしっかりと愛情を込めて関わることが重要で、この時期は「子どもの人生の土台、心の土台づくり」であるということ。また子どもとの関わりで自己肯定感を高めること。さらに、「ひとつ」、「ふたつ」…など、最後に「つ」がつく九つ(9歳)までに「しつけ」を身につけることが大切。「子育ては今しかない。」など、涙があふれそうな事例を交え、心に残る講演でした。




**「赤ちゃん登校日」 18日(金曜日)中央校、30日(水曜日)東部校**  
多久市立東原庁舎中央校・東部校で赤ちゃん登校日を開催しました。生徒のみなさんも赤ちゃんも初めはドキドキ…。時間が経つにつれ、生徒のみなさんも赤ちゃんを抱っこしたり、赤ちゃんもニコッと笑ってお兄ちゃん、お姉ちゃんの手をつかんでおもちゃをとってもらったりなど、ごきげんでした。あっという間の30分でしたが、実のある時間となりました。次回は11月6日(水)に中央校。今年度はこれが最後です。ぜひご参加ください。優しいお兄さんやお姉さんが「赤ちゃん登校日」を楽しみに待ってますよ！



**今月のメニュー**

1～7日 「はたけへGO！」(いもほり)  
6日 10:30～「赤ちゃん登校日」(東原庁舎中央校)  
※ファミリーサポートセンター(に)いる、利用者支援事業(ハラソレ)と共催  
14日 10:30～「子育て講話」  
・講師:佐賀女子短期大学 准教授 榎本真美代先生  
14日 14:30～「食育相談会」  
・講師:佐賀女子短期大学 助手 西原由紀先生  
19日 10:30～「お誕生日おめでとう」※児童館と合同  
20日 10:30～「赤ちゃん広場」  
※ファミリーサポートセンター(に)いる、利用者支援事業(ハラソレ)と共催  
※全ての講座、イベントで託児あります。

☆連絡先 多久市児童センター 内「子育て支援センター」☆  
[Tel 0952-37-1117](みんないっしょにいっしょ)

